

## 目次

### 発刊の言葉

## 第1章 海難防止（海上安全）の調査研究

### 1 概説

- (1) 海難防止（海上安全）の調査研究の始まり……………1
- (2) 海難防止（海上安全）の調査研究のアプローチ……………2
- (3) 日本周辺海域における海難の状況及び今後の課題……………11

### 2 海上交通安全システムの構築

- (1) 海上交通安全システム……………16
- (2) 航路体系・海上ハイウェイネットワーク……………24
- (3) その他分離通航方式等……………29

### 3 船種別の安全対策

- (1) 大型船……………34
- (2) タンカー……………42
- (3) 漁船……………53
- (4) 小型船及びプレジャーボート……………63
- (5) 高速船……………68
- (6) カーフェリーその他の船舶……………73

### 4 海域別の安全対策

- (1) 東京湾……………80
- (2) 伊勢湾……………103
- (3) 瀬戸内海……………111
- (4) その他の港湾……………128

### 5 海難防止対策、災害対策等

- (1) 海難防止対策……………138
- (2) 台風・荒天対策……………152
- (3) 地震・津波対策……………157
- (4) 気象・海象……………161

### 6 大規模プロジェクトの安全対策

- (1) 海上架橋……………163
- (2) 海上空港……………167
- (3) 石油備蓄……………174
- (4) 東京湾湾口航路整備……………180

### 7 危険物の安全対策

- (1) 危険物の物、性状（港則法上の危険物関連）……………182

(2)	危険物積載船の運用、荷役、事故発生時の対応策等	186
(3)	地域別、港別の危険物積載船運航等	188
8	機器・設備の改善	
(1)	調査研究の対象とした機器・設備	190
(2)	機器・設備に関する調査研究の概要	190
9	海域の利用調整	198
10	海上交通法規の検討	
(1)	海上衝突予防法	203
(2)	海上交通安全法	204
(3)	港則法	206
(4)	海上交通法規に関する調査研究の概要	207
11	水先制度の検討	
(1)	水先制度に関する調査研究の流れ	213
(2)	水先制度に関する調査研究の概要	216
12	船舶の通航実態調査	221
13	ヒューマンエラーによる事故の防止	
(1)	ヒューマンエラーの定義	226
(2)	ヒューマンエラー事故防止への取り組み	227
(3)	ヒューマンエラーに関する調査研究の概要	229
14	データベースの構築	
(1)	データベース	236
(2)	データベースシステム	241
第2章 海洋汚染防止（海洋環境保全）の調査研究		
1	概説	
(1)	海洋汚染防止（海洋環境保全）の調査研究の始まり	247
(2)	海洋汚染防止（海洋環境保全）に係る国際情勢等の流れ	250
(3)	海洋汚染防止（海洋環境保全）に係る調査研究の概要	253
(4)	日本周辺海域における海洋汚染の状況及び今後の課題	255
2	油による海洋汚染の防止	
(1)	油に関する調査研究の流れ	258
(2)	油に関する調査研究の概要	259
3	有害・危険物質による海洋汚染の防止	
(1)	有害・危険物質に関する定義	273
(2)	有害・危険物質に関する調査研究の流れ	274
(3)	有害・危険物質に関する調査研究の概要	275

4	廃棄物による海洋汚染の防止	
(1)	廃棄物に関する調査研究の流れ	285
(2)	廃棄物に関する調査研究の概要	285
5	バラスト水による海洋汚染の防止	
(1)	バラスト水に関する調査研究の流れ	289
(2)	バラスト水に関する調査研究の概要	292
6	船舶による大気汚染の防止	
(1)	船舶による大気汚染に関する調査研究の流れ	296
(2)	船舶による大気汚染に関する調査研究の概要	296
7	その他	298
第3章 海上安全思想の普及啓発		
1	概説	300
2	情報誌「海と安全」	301
3	海難防止強調運動・海難防止キャンペーン	303
4	講習会等	305
5	訪船指導	308
6	解説書等	311
7	海難防止のための施設整備事業	313
8	海難防止等調査研究団体連絡調整事業	313
9	その他	315
第4章 国際関係業務		
1	概説	316
2	国際動向調査	
(1)	海上安全国際動向委員会	325
(2)	海洋汚染国際動向委員会	329
3	アセアン海洋汚染防止体制	
(1)	OSPAR 及び CMV の流れ	337
(2)	アセアンにおける油汚染に対する準備及び対応に関する国際協力計画 (OSPAR 計画)	339
(3)	アセアン地域内三カ国における海洋汚染防止体制充実・強化支援(CMV)	341
(4)	アセアン地域内における海洋汚染防止体制充実・強化支援	342
(5)	アセアン海洋汚染防止体制に関する調査研究等	342
4	ロンドン連絡事務所	
(1)	ロンドン連絡事務所発足の経緯	345
(2)	ロンドン連絡事務所の業務内容	347
(3)	ロンドン連絡事務所の調査研究報告書	350

5	シンガポール連絡事務所	
(1)	マラッカ・シンガポール海峡情勢の流れ	353
(2)	マラッカ・シンガポール海峡の通航路の整備	355
(3)	シンガポール連絡事務所の設立	358
(4)	シンガポール連絡事務所の活動	358
(5)	海賊対策	363
(6)	利用者負担問題	366
(7)	マラッカ・シンガポール海峡に関する調査研究の概要	367
6	富山連絡事務所	
(1)	北西太平洋地域行動計画（NOWPAP）の流れ	372
(2)	NOWPAPの概要	375
(3)	NOWPAPに関する日本海難防止協会の活動	377
(4)	富山連絡事務所の開設	379
第5章 機構・財政		
1	機構	
(1)	(社)日本海難防止協会の設立	380
(2)	定款	380
(3)	会員	381
(4)	会議	381
(5)	職員	381
2	財政	
(1)	助成金及び補助金	382
(2)	基金	383
(3)	会費	383
(4)	調査研究受託費	383
[資料Ⅰ]		
①	現在の定款	資 1
②	会員	資 10
③	歴代会長等	資 12
④	一般会計の推移	資 13
[資料Ⅱ]	調査研究報告書一覧	資 15～